

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・4月の新学期の販売を終えたが、追加注文がかなり来ている。非常にうれしいが、珍しいことである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・3月の送別会の動きは非常に悪かったが、歓迎会の予約は良く、フリー客の動きも良くなっているため、少しほっとしている。改元の効果なのか、よく分からないが、一安心である。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・行楽シーズンに入った今月は、残雪目当ての外国人客が多いが、国内客も微増傾向である。
		都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・大型連休の予約が好調な上に、料金や商品単価の値上げの影響も少ない。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・フリー利用が順調に推移している。予約状況も悪くなく推移していたため、結果的にはフリー利用のプラス分、良くなっている。また、気温差はあったものの比較的天候が安定したことが、プラスに作用している。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・統一地方選挙もあり、年配者が多い平日は、選挙の話題が盛んに話されている。また、春の雪に見舞われクローズしたため、新年度の出だしが厳しかった。しかし、1日当たりの平均組数は上がっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型連休を控えて週末ごとの人出は少なかったが、27日以降は近年まれな人出である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・前年の猛暑によるエアコン騒ぎで、エアコン自体の動きは例年よりも増えている。ただし、他の商材の動きは悪い。必要でない物への消費意欲は全くみえない。相変わらず、財布のひもは緩まない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・消費税再増税関連の客の動きが、なかなか感じられない。
		百貨店（売場担当）	それ以外	・気温の変動が大きく、安定せず、本来動くべき物が不調であるが、今月は前年になかった催事を開催したことで、売上はプラスとなっている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候が安定し、来客数も安定している。青果相場もほぼ前年並みで単価も安定している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・前年同月と比べてみると、前年は割と気温が高く、飲料等、比較的売上的上がる要因があったが、今年はそういう要因もないので、売上金額自体も低迷している。2～3か月前と比べても動きとしては変わらないが、余り良くない状況にある。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候が不安定に変動しており、戸惑っているからか、春夏物への準備が遅れている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が止まらない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・10連休を控えているということもあり、車検や一般整備は慌ただしかったが、台数的には前年同期と余り変化がない。車両販売は、厳しい。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・大型連休の流れで良いだけで、景気の影響ではない。
		スナック（経営者）	競争相手の様子	・競争相手の様子から変わらないと判断したが、もちろん、客の様子もある。変わらないと回答しているが、悪いまま変わっていないということである。良くなる気配が本当はない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・冬季から4月の新年度が始まる頃は、県外客がほとんどなく、地元需要しか期待できない時期である。ところが、地元需要は平成4年をピークに減少を続けている。新しくインバウンド需要が生まれてきている1～2月は、売上の下げ止まりがみられるものの、12月及び3～4月は地元需要の減少分を補うだけの新しいニーズが生まれていない。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・来客数は伸びているものの、高齢者が中心で、持続可能性を高める企業努力が課題となっている。

	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は落ち着いている。相談はたくさんある。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・忙しく、納期に間に合わない状況が続いている。
	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・別荘に関する問合せが、前年同期より減少している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・桜の便りとともに、気持ちも明るくなって人出を期待するが、街の閑散さは変わらない。10連休にも期待するが、平常より街中が寂しくなるかもしれない。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競合各社のチラシ広告の回数が増えてきている。競合も売上の的には厳しいだろうと感じている。
	スーパー（経営者）	それ以外	・3月中旬に、近隣のきのこ生産者が自己破産申請をして、負債が5億5千万円とのことである。さらに、近所の衣料品販売会社も民事再生法が適用され、負債は34億円、今月も近くのスーパーが閉店した。景気の悪い報道を聞いていると、気分が落ち込む。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・元号の変わり目の商機はあるが、新規顧客の獲得にはつながらにくく、新たな売上の原資獲得にはならない。
	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・新車の販売台数が鈍ってきている。消費税再増税前の駆け込み需要も、まだ感じられない。
	乗用車販売店 （経営者）	お客様の様子	・当業界の景気のパロメータである車両販売で、活況が見えず、高額な車種、グレード車の販売に苦戦している。
	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・地元の流通系大型専門店が倒産し、東京の資本に援助を受けた。マーケットの縮小と買い回り品の購入頻度長期化が顕著で、来客数減少も続いている。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・月の前半は多少動きがあったものの、後半に入ってゴールデンウィーク前ということもあり、家族客の来店が悪い。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内、海外出張などの企業の動きが鈍ってきている。また、企業の団体旅行も小規模になっており、徐々に景気の減退がみられる。個人客には余り変動はないが、動向としては大型連休に向けた動きが活発である。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・他社の進出や営業強化により、携帯電話の乗換えに伴う保留や解約が引き続き増加し、厳しい状況である。
	x 百貨店（店長）	販売量の動き	・元々、製造業等に比べ景況感が良くない百貨店業界だが、消費税再増税を控えた客の心理的影響もあり、購買動向も慎重さがみえる。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-	-
	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・ようやく売上が前年実績に肩を並べ、計画をわずかではあるが上回って推移しており、このまま達成できそうである。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は増えているが、資材の値上がりもあり、経営的には順調とはいえない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注状況は変わっていない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は変わりなく忙しいが、周囲は若干落ち込んできているようである。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光関連宿泊施設では、外国人観光客の増加により安定した売上が図られている。
	食料品製造業 （製造担当）	それ以外	・なかなか値上げができない。原材料価格は上がっているが、価格転嫁できていない。
	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量の動き	・海外からの安価なワインに押され、国産100%ワインはやや苦戦を強いられている。

	その他製造業 [宝石・貴金 属] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・今月初めの業者向け展示会は、思わぬ降雪のため来場者、 売上共に約5%減少した。中国景気の減速からか、中国からの パイヤー購入は13%減である。今月はユーザー展も多く開 催されたが、いずれも限られた上得意の購入に支えられて、 何とか前年並みの売上である。当社はユーザー展で高額商材 がたまたま売れたお陰で、今月は前年を上回ったものの、販 売点数は落ちている。	
	金融業 (調査担 当)	取引先の様子	・製造業の景況感が大幅に悪化しており、米中貿易摩擦によ る受注減少等の影響が生じている。	
	新聞販売店 [広 告] (総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・販売量の微減が続いている。また折込チラシについては統 一地方選挙などで、選挙関連の折込は増えたものの、通常 のチラシは減少が続いている。	
	×	*	*	*
雇用 関連				
(甲信越)				
	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・相変わらず人手不足ということだが、正社員募集に応募、 採用され、条件が大きく違って退職する方が多い。企業は再 募集をかけているが、評判が悪く苦勞しているところも目 立っている。	
	求人情報誌製作 会社 (経営者)	周辺企業の様子	・人手不足が深刻で、業種によっては募集をしても採用に至 らない。特に、飲食店などは店休日を増やして調整をして いる店舗もある。	
	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・有効求人数は前年7月以来、高水準をキープしており、有 効求職者数も増加に転じている。	
	民間職業紹介機 関 (経営者)	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において、中国経済の減速の影響 が出始めたが、採用にはそれほど目立った動きはない。	
	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新規求人数が前月比、前年同月比共に減少しており、特 に、半導体製造装置関連や運輸、郵便業などの減少が目立 つ。道路貨物運送業では、人材を確保できず事業を閉鎖す るケースもあった。サービス業も前月比で減少しているが、派 遣会社の派遣先である製造業の派遣止めの影響が大きい。	
	×	-	-	-